

学校支援活動事業訪問

福島市訪問【福島市立三河台小学校】

訪問日：平成31年4月15日（月）10:00～12:00

場 所：福島市立三河台小学校

内 容：「福島の歴史を知ろう～歴史探訪フィールドワーク」
での学習支援ボランティア

三河台歴史愛好会から講師として8名のボランティアの方々を迎え、フィールドワークを行いました。子どもたちは7名ずつのグループに分かれ、「三河台地区史跡探訪マップ」に従って学校周辺の5カ所の史跡をまわります。各史跡にはそれぞれボランティアの方が待機し、子どもたちに神社仏閣等の建物や石碑の歴史的な意義、土地にまつわる伝説等を詳しく説明してくださいました。子どもたちは真剣な表情でメモをとりながら意欲的に5カ所のポイントを巡り、地域の歴史についての理解を深めました。



【校長先生の声】

この三河台地区は住宅街でアパート、マンションが多く、地域の結びつきが薄いと思われるがちです。しかし、子どもたちの多くは子ども会、育成会へ所属しており、校外での活動も盛んです。また三河台学習センター主催の様々な活動への参加も多く、予想以上に子どもと地域の結びつきは強いと思われまます。

学校でも、各教科の授業で地域の方々に積極的に入っていただくようにしています。地域の方々のお力を借りながらよりよい教育活動を展開し、学校と地域との結びつきを深めていきたいと考えています。

【ボランティアの方の声】

三河台歴史愛好会は地域の個性を生かした町づくりをめざして地区の史跡を整理し、マップ作成や史跡看板整備を進めてきました。今回の学校支援活動は、これらを有効に活用する場としてとらえています。子どもたちが地域の歴史に関心をもち、歴史から多くのことを学ぶきっかけとなることを願っています。

【子どもの声】

普段このあたりを通る時は気づかない歴史を知ることができて、とても素晴らしい地域だと思いました。ボランティアの方々が詳しく説明して下さりとてもうれしかったです。こういう活動はとても勉強になり、楽しいです。



本活動に向けて、学校ではボランティアの方と綿密に事前打ち合わせを行ったそうです。今回の実践のように、学校が子どもたちに求める資質や能力を明らかにし、目標を地域社会と共有していくことが何より大切であると感じました。

このような充実した学校支援活動が、地域のもつ豊かな教育力の十分な活用と、学校・地域の強固なパートナーシップの構築につながっていると思います。